

血液・腫瘍内科

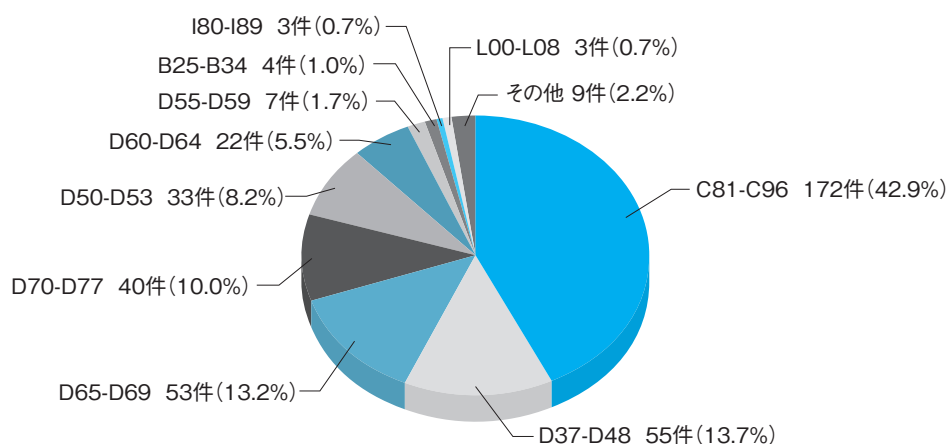
1. 概要

1997年に専門医1名で開設し、2001年に病棟（西9階）を独立、次第にスタッフを増員し、本年度は5-6名のスタッフで診療を行った。かねてより同種造血幹細胞移植の準備を進めていたが、2014年に4床の新たなクリーンルーム（class100）を増設し、また同胞間同種造血幹細胞移植の症例数が一定に達したことで、本年度は日本骨髄バンク非血縁者間骨髄移植や臍帯血バンクの認定を受けることができ、当科でも非血縁者からの同種造血幹細胞移植を行うことが可能となった。これにより、造血器腫瘍に対する化学療法や自家および同種造血幹細胞移植、免疫療法、凝固疾患に対する治療など、ほぼ全ての血液疾患に対する治療が当科で行えるようになった。

（第二部長 倉橋 信悟）

2. ICD-10による疾患別頻度

新規登録特有疾患件数：401件



ICD-10 中間分類項目

C81-C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物
D37-D48	性状不詳又は不明の新生物
D65-D69	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態
D70-D77	血液及び造血器のその他の疾患
D50-D53	栄養性貧血
D60-D64	無形成性貧血及びその他の貧血
D55-D59	溶血性貧血
B25-B34	その他のウイルス疾患
I80-I89	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの
L00-L08	皮膚及び皮下組織の感染症

3. 活動報告

(1) 感染症

延べ総件数：191件

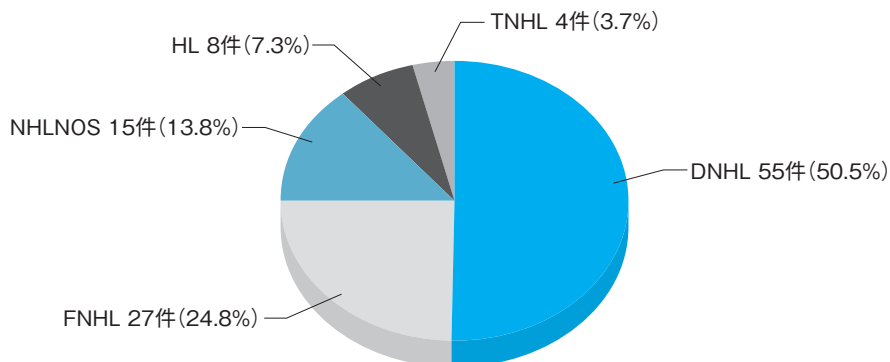
	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	敗血症	53	5	ヘルペス感染症	16
2	カンジダ症	62	6	ニューモシスチス症	4
3	真菌症	22	7	アスペルギルス症	14
4	サイトメガロウイルス病	20		計	191

(2) 造血幹細胞移植

種 類			件数(件)
自家移植			16
同種移植	血縁者間	同胞	10 (骨髄：6 末梢血：4)
		半合致	0
	非血縁者間	骨髄バンク	1
		臍帯血バンク	0

(3) 悪性リンパ腫の組織分類 (ICD10 C81-85)

総件数：109件



略語	疾患名
DNHL	びまん性非ホジキンリンパ腫
FNHL	ろく濾胞性 [結節性] 非ホジキンリンパ腫
NHLNOS	非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型
HL	ホジキン病
TNHL	末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫

学会発表（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	当院産婦人科におけるクリオプレシピテート使用状況について	共同演者	I Sugiura	第64回日本輸血・細胞治療学会東海支部例会	2015/2/7
2	抗がん剤治療後のヒトパルボウイルスB19感染による後天性赤芽球癆に対し免疫グロブリン大量療法が有効であった一例	筆頭演者	奥野 真吾	第4回日本血液学会東海地方会	2015/4/25
3	移植適応多発性骨髄腫患者における新規薬剤を含んだ寛解導入療法の移植成績への影響の検討	筆頭演者	奥野 真吾	第40回日本骨髄腫学会学術集会	2015/5/16
4	アザシチジン治療MDS患者における骨髄p53発現と染色体異常の組み合わせによる新たな短期予後予測指標	筆頭演者	Satoshi NISHIWAKI	20th Congress of EHA	2015/6/11~ 2015/6/14
5	悪性高血圧による血栓性微小血管障害症(TMA)の1例	筆頭演者	小笠原雅彦	第226回日本内科学会東海地方会例会	2015/6/21
6	骨髄のp53陽性細胞はアザシチジンで治療されたMDS患者の予後予測因子となる	筆頭演者	西脇 聡史	第13回日本臨床腫瘍学会学術集会	2015/7/16
7	Effectiveness of high-dose MTX therapy for adult Ph-negative ALL by randomized trial	筆頭演者	倉橋 信悟	第77回日本血液学会学術集会	2015/10/16
8	A new prognostic index to predict short-term prognosis in MDS patients treated with azacitidine	筆頭演者	Satoshi Nishiwaki	第77回日本血液学会学術集会	2015/10/16
9	Long-term outcome of high-dose therapy for MM patients in pre-novel agents era (C-SHOT0401 Trial)	筆頭演者	Shingo Okuno	第77回日本血液学会学術集会	2015/10/16
10	Ph(+) ALL	筆頭演者	Isamu Sugiura	第77回日本血液学会学術集会	2015/10/17
11	Long-term follow-up data of phase I / II study of MPB in untreated Japanese MM patients	共同演者	Isamu Sugiura	第77回日本血液学会学術集会	2015/10/17
12	Molecular response of e6a2 bcr-ab/-positive AML to DLIs and TKIs after allogeneic transplantation	筆頭演者	Yasuhiko Harada	第77回日本血液学会学術集会	2015/10/17
13	Ph+ALLの進捗状況報告	筆頭演者	杉浦 勇	第2回合同班会議(JALSG)	2015/12/12

研究会発表（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	weekly BD療法中に、肝多発腫瘤を形成して再燃した一例	筆頭演者	渡邊 絢史	第12回東海骨髄腫フォーラム	2015/2/21
2	移植適応多発性骨髄腫患者における新規薬剤を含んだ寛解導入療法の移植成績への影響の検討	筆頭演者	奥野 真吾	第13回東海骨髄腫フォーラム	2015/9/19

座長・司会（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	再発難治性多発性骨髄腫治療の考え方	杉浦 勇	International Symposium In Myeloma 2015 at NAGOYA	2015/6/30
2	座長	杉浦 勇	Stop Sepsis Seminar 2015	2015/7/1

講演（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	Ph + ALL の新たな治療戦略	杉浦 勇	第7回西東京血液セミナー	2015/2/6
2	IMWG診断基準 updateに関して	原田 靖彦	第12回東海骨髄腫フォーラム	2015/2/21
3	治療抵抗性Hodgkinリンパ腫に対し、アドセトリス併用化学療法にて自家移植を目指している一例	原田 靖彦	第42回名古屋血液レジデントカンファレンス	2015/3/20
4	ソリリスを使用したPNHの一例	原田 靖彦	第29回三河血液疾患診療ネットワーク	2015/5/22

論文・著書 (医局)

<血液・腫瘍内科>

No.	題 名	区分	氏名	著 書 名
1	移植適応Ph陽性ALLに対する至適な寛解導入療法・地固め療法は?	筆頭著者	杉浦 勇	白血病診療Q&A 一つ上に行く診療の実践. 2015, p.181.
2	Ph陽性ALLに対する移植後のTKI投与は?	筆頭著者	杉浦 勇	白血病診療Q&A 一つ上に行く診療の実践. 2015, p.184.
3	Ph染色体陽性急性リンパ性白血病	筆頭著者	杉浦 勇	血液専門医テキスト 改訂第2版. 2015, p.285.
4	フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病	筆頭著者	杉浦 勇	内科. 2015; 116: 231.
5	Phase I dose-escalation study of cyclophosphamide combined with bortezomib and dexamethasone in Japanese patients with relapsed and/or refractory multiple myeloma	筆頭著者	Sugiura Isamu	Int J Hematol. 2015; 102: 434-440.
6	Monitoring of Hepatitis B Virus (HBV) DNA and Risk of HBV Reactivation in B-Cell Lymphoma:A Prospective Observational Study	共同著者	Sugiura Isamu	Clin. Infect. Dis. 2015; 61: 719-729.
7	Cervical epidural hematoma in a healthy donor presenting stroke mimic symptoms: a rare adverse event following peripheral blood stem cell apheresis	筆頭著者	Terabe Satomi	Jpn J Clin Oncol. 2015; 45: 584-587.
8	t(14;16)-positive multiple myeloma shows negativity for CD56 expression and unfavorable outcome even in the era of novel drugs	共同著者	Sugiura Isamu	Blood Cancer J. 2015; 5: e285.
9	Increased T-cell responses to Epstein-Barr virus with high viral load in patients with Epstein-Barr virus-positive diffuse large B-cell lymphoma	共同著者	Sugiura Isamu	Leuk Lymphoma. 2015; 56: 1072-1078.